

特殊詐欺被害防止のために自分にできること

岡山市立竜操中学校 1年 西本 日向子



「日向子、今からおばあちゃんに家に行くよ。」

ある日、私の母は、仕事から帰ってくるとすぐに祖母の家に行くと言い、私も一緒に行きました。

「なんで、おばあちゃんの家に行くの？」と聞くと、母はその日、職場の友人の母が詐欺にあった話をしました。

一人暮らしをしている母の友人の母(80代)の家に、警察を名乗る男から電話があり、銀行口座が詐欺の被害にあっている可能性があるため、これから捜査員が行きますと言われ、すぐに20歳くらいの女性が訪ねてきたそうです。そして、いろいろと質問に答えたり、通帳やキャッシュカードを確認したりした後帰ったそうです。

実は、この女性は詐欺の犯人で、最初の警察署からの電話も全部、うそだったのです。キャッシュカードは、途中でにせもののカードとすりかえられて、盗まれていました。

母の友人の母は、少したってから何か変だと感じ、自分の娘(母の友人)に連絡をして警察に通報しました。すぐに本物の捜査員が、やってきて、すぐに捜査は始まりましたが、銀行口座のお金は、すべて盗まれていました。

その話を聞いた私の母はすぐに祖母に気をつけるようにと話をするために、祖母の家に行きました。最近、岡山ではこのような詐欺がとても多らしく、私の祖母も一人暮らしなので、とても心配です。

警察庁Webサイトの「特殊詐欺認知、検挙状況について」によると、令和元年の特殊詐欺の認知件数は16851件、被害額は、315.8億円で、1日当たりの被害額は、8650万円でした。特殊詐欺は、認知件数・被害金額ともに前年より減少しているが、母の友人の母がだまされたような、被害者を巧妙にだまし、キャッシュカードをすりかえて盗むという新しい手口の事件は増えているそうです。岡山県警察ホームページでも、「今流行の手口はこれだ！」と手口がくわしくのっていました。

母の友人の母が警察に通報し、捜査が始まったその翌日、犯人がつかまったのは、22歳の女性だったそうです。犯人といっても、いわゆる「受け子」と呼ばれる被害者と接触して、カードを受け取る役目の人です。私は意外と早く犯人がつかまった事にびっくりしましたが、犯人(受け子)が22歳の女性だった事にもおどろきました。

「受け子」について、インターネットで調べてみると、最近では、10代の「受

け子」が増えていて、高校生や大学生が、受け子で逮捕される例が増えているそうです。10代の受け子増加の背景にツイッターでのバイト募集があり、「#裏バイト」、「#高額バイト」などのハッシュタグで検索すると、様々な投稿が見つかるそうです。まさか誰でも見ることができるようなツイッターやインスタグラムなどのSNSが犯罪にこのように利用されているとは思いませんでした。もしも、このような犯罪に関わってしまうと、一生後悔することになります。警察でも、「受け子や出し子は必ず捕まる。目先の数万円の欲しさのために犯罪に手を染めれば、人生を台無しにすることになる。」と警鐘を鳴らしている。

私は今、携帯電話やスマホを持っていませんが、この先SNSなど、利用することがあっても、十分に気をつけて利用したいと思います。また、一人暮らしの高齢者の方々にねらう特殊詐欺は本当に許せないと思います。

特殊詐欺の手口は、警察に捕まりにくくするためにどんどん新しく変わっていくから、時々警察のホームページなどで情報を確認して、一人暮らしの祖母や、高齢の親せき、近所の高齢者の方々に伝えていき、一人でも、二人でもいいから少しでも多くの方が特殊詐欺の被害にあわないように働きかけていきたいと思います。そして、加害者も被害者も、つらい思いをすることになり、どちらも、たった一度しかない人生が台無しになってしまうので、私たち若い世代も、加害者にも、被害者にもならないようにしていきたいです。